

6月21日（月）全校集会

## 校長講和 「私たちの、私たちによる、私たちのための 自販機利活用」

全校生徒のみなさん、おはようございます。みなさんも既にご存じのように、昨日、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、発令されていた 緊急事態措置が解除となりました。およそ、2 カ月に渡って、さまざまな行動に対して規制や制限がかけられていましたが、本日より、一部社会経済活動が認められることとなりました。私たちの学校においても、部活動の時間を長く行うことができるようになったり、教科授業の内容・活動も、多少制限がゆるやかなものとなります。

そして、何と言っても、1・2 年生の宿泊学習。春の実施は「延期」となりましたが、今回の解除により、7月11日の実施に向けて、前へ、本格的な準備を進めていくこととなります。

大変喜ばしい話で、あなたたちの笑顔・歓声が、ここ放送室からも、うかがえるかのようです。しかし、コロナは消滅したわけではありません。目に見えないウイルスは、私たちのすぐ近くに存在していると言ってもいいでしょう。コロナウイルスを私たちの体内に呼び込まないよう、そう、感染しないよう・させないよう、これまでみなさんが徹底してくれた、健康観察、マスク着用、密にならない等の対策を、変わらず実行していきましょう。

「自分と相手、自他を思いやる」 前回の集会で私が話したテーマ、自他を思いやる感染症対策の行動が、私たちの学校行事一つ一つを奪われることなく、成就できることにつながるのですね。一人で頑張るのは、苦しくて辛いけど、皆で励まし合って頑張れば、きっとやれるよね。

さて、今朝の全校集会、この後、生徒会 5 役にマイクをバトンパスしますが、いよいよオープン間近に迫った「飲料水 自動販売機」の最終章ですね。このことに関しては、6月11日（金）に、担任の先生から皆さんに配っていただいた、お便り、私と PTA 会長さん両名からの文章に、自販機設置にかかる経緯や目的、そして生徒の皆さんが利用することの意義等が、力強く記されています。気持ちを込めた思いが記されています。皆さん、しっかり読んでいただきましたか。おそらく、今日、日本中の公立中学校で、藤中のような自動販売機の利用方法を実践している学校はないのではないのでしょうか。少なくとも、私は知り得ていません。5年後、10年後いやもう少し先の未来に、「振り返れば、2021年6月28日に開始した、藤中の自販機運営、あれこそ藤中創立以来 NO.1 の画期的なレジェンドだったね！」と、多くの藤中同窓生から語られる、そんな可能性を有していると、私は信じます。

“自他共に”を大切にする シンボリックな生徒会の取組み、『私たちの、私たちのための、私たちによる自販機の利活用！』みなさんの創意と活力がみなぎる実践を、心より期待して、私の話とします。